

本号の内容

- ①景観フォーラム
- ②景観学習教室
- ③ふるさとあおり景観賞
- ④環境色彩セミナー
- ⑤都市計画研修
- ⑥青森県都市計画マスタープランの改訂
- ⑦景観の日ポスター作成
- ⑧公式 Instagram 開設

1.

景観フォーラム

「まちなみの中にある「物語」を楽しもう!～都市再生推進法人と創るにぎわいのある景観～」

県では、県民の景観形成に対する関心と行動への意欲を高めることを目的として、平成19年度から景観フォーラムを開催しています。今年度は、令和6年6月3日(月)にアウガ青森市男女共同参画プラザ・カダールA V多機能ホールにて、「まちなみの中にある「物語」を楽しもう!～都市再生推進法人と創るにぎわいのある景観～」をテーマとして開催しました。併せて、YouTubeにてフォーラムの様子をライブ配信しました。はじめに、弘前大学特任教授の北原啓司様より、「第16回ふるさとあおり景観賞」の講評が行われ、県内の良好な景観づくりに貢献していると認められる6作品が紹介されました。

次に、国土交通省都市局まちづくり推進課の山田大輔様より、「居心地の良い場所づくりからはじめる地域再生」、福島県須賀川市株式会社テダソチマの大木和彦様より「みちしるべを元に進める『まちそだて』」、青森県黒石市合同会社ゲンジアーキの古川正敏様より「黒石と人と時間」と題し講演頂きました。

続いて、パネリストとして山田大輔様、大木和彦様、古川正敏様、コーディネーターとして北原啓司様によるパネルディスカッションを行いました。

令和6年度景観フォーラムを青森県県土整備部のYouTubeチャンネルで配信しましたので是非ご覧ください。



第16回ふるさとあおり
景観賞講評



パネルディスカッション
「まちなみの中にある「物語」を楽し
もう!～都市再生推進法人と創る
にぎわいのある景観～」



令和6年度景観フォーラムの様子は
こちらからご覧いただけます。

2. 景観学習教室

県では、これからの青森県を担う子どもたちの景観に対する関心と良好な景観形成への意識を育むことを目的に、景観アドバイザーなど景観の専門家を講師として小学校等に派遣し、景観に関する授業を行う出前講座「景観学習教室」を平成14年度から開催しています。今年度は、脇野沢小学校ではまち歩き、北原先生の講義（2日）、三戸小学校では河村先生の講義（1日）を開催しました。

今年度の参加学校・施設（2校／計50名）

1. むつ市立 脇野沢小学校	1～6年生／10名	（講師：北原 啓司先生）
2. 三戸町立 三戸小学校	3年生／40名	（講師：河村 信治先生）

【景観学習教室の様子：むつ市立脇野沢小学校】



まちあるきの様子



景観について学んでいる様子



発表の様子

【景観学習教室の様子：三戸町立三戸小学校】



景観について学んでいる様子



景観について学んでいる様子



発表の様子

3. ふるさとあおもり景観賞

令和5年度に良好な景観づくりに貢献しているまちなみやまちづくり活動を表彰し、魅力ある景観形成への県民意識向上や美しい景観づくりに寄与することを目的として、「第16回ふるさとあおもり景観賞」の募集を行いました。23件の応募があり、厳正な審査の結果、県内の良好な景観づくりに貢献していると認められる下記6作品が最優秀賞を受賞し、今年度開催した景観フォーラムにおいて授賞式を行いました。

また、今年度募集した「第17回ふるさとあおもり景観賞」には24件の応募があり、令和7年2月21日（金）に審査会を実施しました。

審査結果の発表は6月頃を予定しており、令和7年6月6日（金）開催の景観フォーラムで表彰式を行う予定としています。

発表までもうしばらくお待ちください。



景観賞審査会の様子



公共建築物部門 最優秀賞

青森市役所本庁舎
(青森市)



民間建築物部門 最優秀賞

グッドライフ株式会社 社屋
(青森市)



民間建築物部門 最優秀賞

東奥信用金庫 黒石支店
(黒石市)



地域づくり活動部門 最優秀賞

つつじヶ丘開拓団
(むつ市)



地域づくり活動部門 最優秀賞

NPO 法人 シェルフオレスト川内
(むつ市)



地域づくり活動部門 最優秀賞

冬に咲くさくらライトアップ
(弘前市)

第18回ふるさとあおもり景観賞

ふるさとあおもり景観賞は、県内の良好な景観づくりに貢献しているまちなみ景観や屋外広告物、まちづくり活動等を表彰することにより、ふるさと青森の個性を生かした魅力ある景観形成に対する県民意識を高め、本県の美しい景観づくりに寄与することを目的に実施しています。

令和7年度は第18回を迎え、令和7年6月1日（日）～令和8年1月16日（金）の期間（予定）で募集します。

皆さまも、好きな景観や気になる景観などございましたら、ぜひご応募ください。詳細については、後日募集チラシを送付させていただきます。

また、過去の受賞作品は、都市計画課ホームページにてご確認頂けますので、ご覧ください。



4.

環境色彩セミナー

県では、良好な景観を形成するにあたって重要な要素となる「色彩」について、専門知識の習得を図るため、「環境色彩セミナー」を県・市町村職員及び民間建築・建設業者、屋外広告業者を対象に平成15年度から開催しています。今年度は、令和6年11月7日（木）～8日（金）に環境色彩セミナー開催以来初めての弘前市にて、開催しました。のべ8名が受講しました。

日本で唯一の色彩に関する総合的な研究機関である一般財団法人日本色彩研究所理事長の赤木重文様を講師に迎え、建物等の色彩の計画決定までの基本的な流れを学ぶ研修を行いました。

今年度も、昨年度と同じく1日目に演習を含んだ講義及びまちあるきを行い、2日目にまちあるきで見つけた建設物等をシミュレーションの題材として、実際に建設物等の色彩設計の案を検討・作成し、グループ毎に色彩計画のプレゼン発表を行いました。

受講者からは、「地元ではあるが、改めて町を歩いて見ることで、今まで気にしていなかった箇所にも目を向けることができた。」、「今まで気にしていなかった色づかいが、実は景観にとって大事な要素であるということを知ることができた。」などの意見を頂きました。



まちあるきの様子



グループワークの様子



発表の様子

5. 都市計画研修

県では、県・市町村職員を対象に、都市計画の実務に必要な知識等を習得させ、日常の業務を円滑に執行できるように、毎年、都市計画研修を開催しています。

今年度は、令和6年10月28日（月）～29日（火）に開催し、22名が受講しました。

研修初日前半は、都市計画課の職員による都市計画に関する基礎知識の習得を目的とした講義を行いました。後半にはおいらせ病院（前おいらせ町地域整備課長）の柴嶋泰幸氏より『おいらせ町の都市計画について』のご講演をいただき、その後「60年後の都市」をテーマにグループワークを行い、都市の将来像を描きました。

2日目はグループワークの続きを行い、初日に描いた都市の将来像をもとに都市構造図を作成し、グループごとに発表を行いました。



講義の様子



グループワークの様子



発表の様子

6. 青森県都市計画マスタープランの改訂

県では、今年度から「青森県都市計画マスタープラン」の改訂に着手しました。前回の改訂は平成22年であり、15年ぶりにマスタープランの改訂作業を行っています。令和6年度に「青森県都市計画基本方針」、令和7年度に「圏域別計画」の見直しを行い、令和8年度に改定版を公表する予定です。

改定作業にあたっては、検討委員会を設置し、都市計画・環境・地理・都市社会学・交通計画・農業土木などの有識者の皆様にご協力いただきながら作業を進めています。また、各市町村の皆様の声をマスタープランに反映させるため、県内6か所で「まちづくり新時代ミーティング」を開催しています。

●「青森県都市計画マスタープラン」とは

おおむね20年後の青森県の姿を展望した都市の将来像を描き、その実現に向けた大きな道筋を明らかにするものです。以下のQRコードからご覧いただけます。



まちづくり新時代ミーティングの様子



検討委員会の様子



現行の「青森県都市計画マスタープラン」は、こちらからご覧いただけます。

7. 景観の日ポスター作成

県では平成8年に青森県景観条例を制定し、県民にゆとりと潤いをもたらす良好な景観を有する県土の実現に向けて、6月1日を「景観の日」と定め、県民の皆さまに参加していただける景観に関する取り組みをお知らせするため景観の日ポスターを作成しています。景観の日ポスターに描かれている絵は平成8年から青森市の洋画家、張山田鶴子氏に作成を依頼しており、令和6年度までで27作品にも及びます。28作品目となる令和7年度ポスターの題材は、あじさいが綺麗な外ヶ浜町の竜飛埼灯台です。

8. 公式 Instagram 開設

都市計画課の取り組みなどを周知するため、「青森県県土整備部 都市計画課」Instagram アカウントを開設しました。都市計画変更やイベント開催のお知らせのほか、業務紹介など情報発信しています。右記 QR コードから、ぜひご覧ください。



編集後記

現在、都市計画課では、15年ぶりに「青森県都市計画マスタープラン」の改訂に着手しているところです。県内6圏域で、市町村職員を対象とした「まちづくり新時代ミーティング」を開催し、20年後の青森県の都市のカタチを思いながら取り組んでいる最中です。

今年度も「景観フォーラム」や「景観学習教室」、「都市計画研修」等、景観やまちづくりの普及啓発に積極的に取り組むことができました。

「環境色彩セミナー」では、平成15年のセミナー開始以降初めて、青森市を離れ、弘前市でセミナーを開催することができました。ご参加いただいた皆様には、歴史的な街並みを残す弘前市でのまち歩きで、色彩が景観にもたらす影響をより実感していただくことができたのではないのでしょうか。

また、第17回「ふるさとあおもり景観賞」には、合計24件ものご応募をいただき、選考審査していただいた審査員の先生方からうれしい悲鳴が聞こえていました。

最後に、今後とも青森県の都市計画・景観・屋外広告物行政の推進に、ご理解ご協力くださるようお願いいたします。

発行：青森県 県土整備部 都市計画課 都市計画・景観グループ

住所：〒030-8570 青森県青森市長島一丁目1-1

電話：017-734-9681（直通） FAX：017-734-8196

青森県庁ホームページアドレス：<https://www.pref.aomori.lg.jp/>